

明日からできる！ 音楽科の実践

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

東葛飾教育事務所指導室

小学校音楽科の「目標」

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

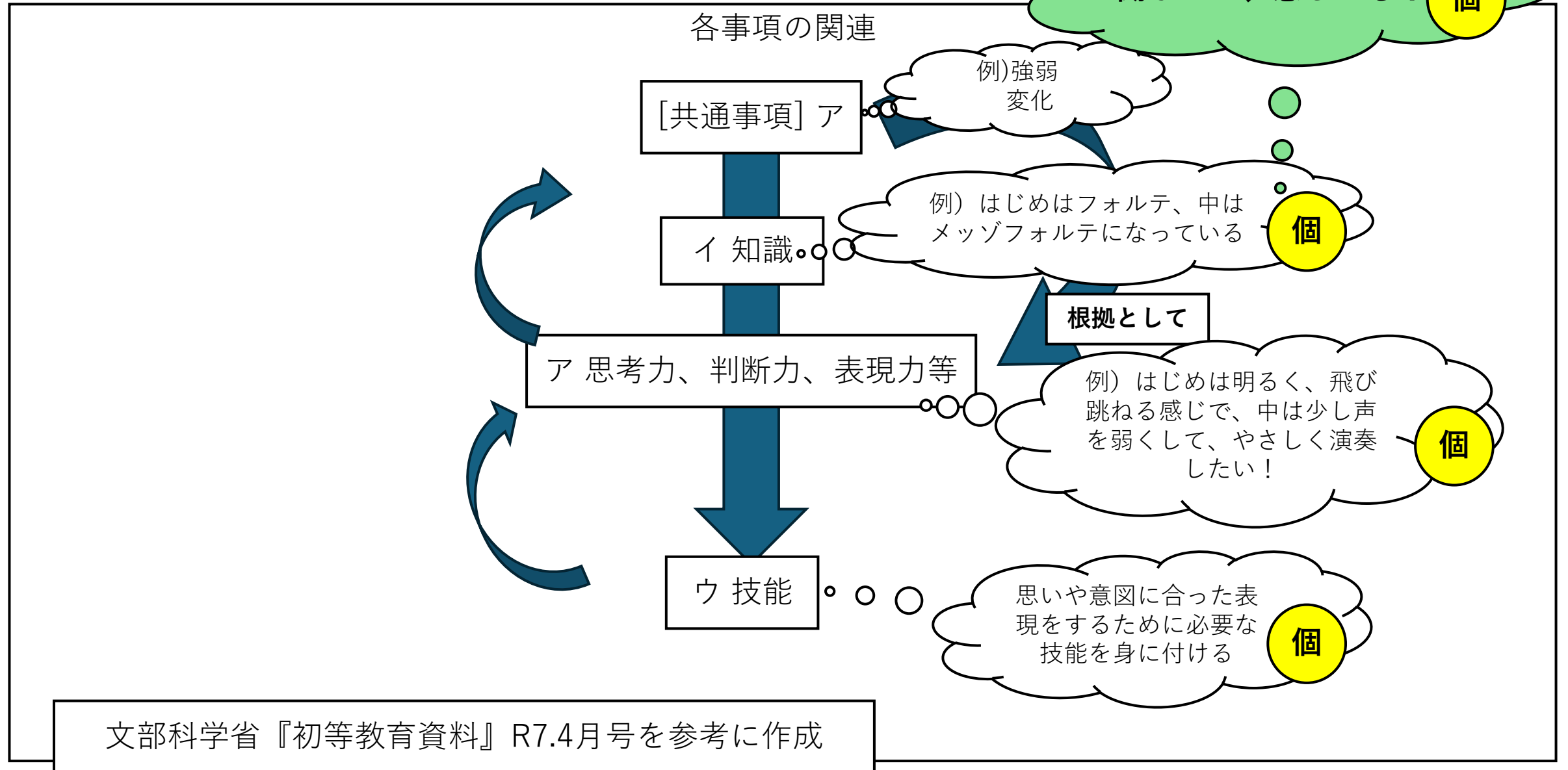
- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

「音楽的な見方・考え方」
音楽に関する感性を働かせ、
音や音楽を、音楽を形づ
くっている要素とその働き
の視点で捉え、**自己のイ
メージや感情、生活や文化**
などに関連づけること

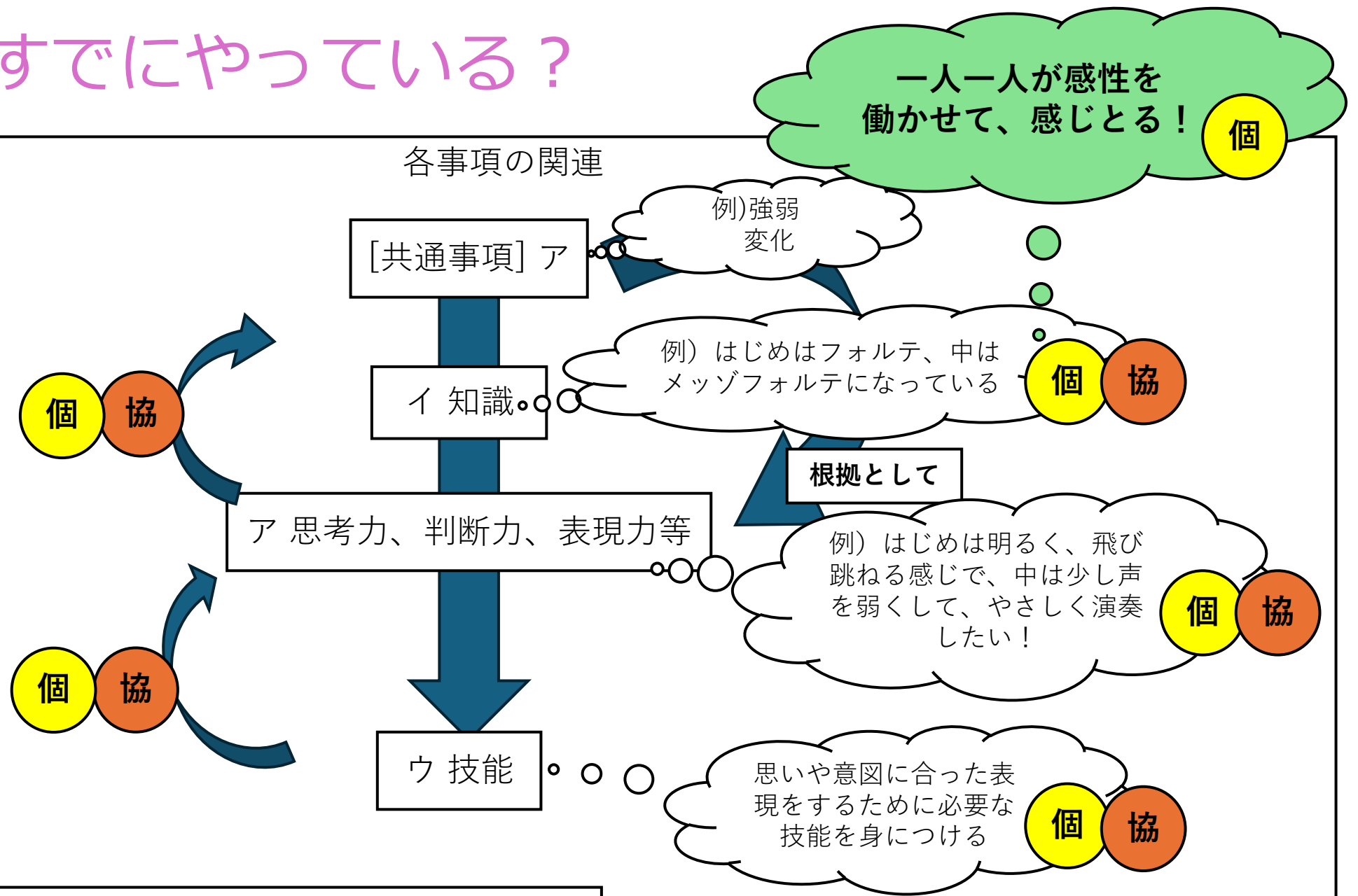
まずは、一人一人が
感性を働かせること
が、
音楽の学習の出発
点！

個

②音楽科の関連の例



③実はすでにやっている？



④実はすでにやっている？（具体的に）

各事項の関連（一部拡大）

ア 思考力、判断力、表現力等

繰り返すことで、
学びが深まる

ウ 技能

『初等教育資料』 R7.4月号を参考に作成

例) はじめは明るく、飛び跳ねる感じで、中は少し声を弱くして、やさしく歌いたい！

個

協

例)

- ・ワークシート等に自分の考えを書く。
- ・ICTに自分の考えを記録する。

例)

- ・考えを伝え合う。見せ合う。(ワークシート、ICT)
- ・プロははどのように演奏しているかを確認する。

思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身につける。

個

協

例)

- ・演奏する楽器を選択してみる。
- ・自分で音の出し方を考えて、演奏してみる。
- ・録音、録画して見返す。

例)

- ・仲間にアドバイスする。アドバイスをきく。(実際の演奏、録音、録画)

⑤ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

【ポイント】

- (1) 1回1回の授業で、全ての学びが実現されるものではない！
- (2) 「個別」や「協働」自体が目的化しないように

※題材など内容や時間のまとまりの中で、

「どこで振り返る場面を設定するか？」

「グループで対話する場面をどこに設定するか？」

を考えて、**計画を立てていくことが大切。**